

令和2年度 コミュニティ交流会資料

会次第

- | | | |
|---|---|----------------------------|
| 1 | オリエンテーション
・開会のあいさつ
・資料説明

(各グループの小会議室へ移動) | 10:00~10:10 |
| 2 | グループ情報交換会
・自己紹介
・進行役、発表役の選出
・情報交換

(大会議室へ移動) | 10:15~11:15

(10分休憩) |
| 3 | 事例発表
・事例発表(各グループ毎) | 11:25~11:55 |
| 4 | 閉会 | 12:00 |

日 時 令和2年12月5日(土) 10:00~12:00
場 所 かごしま市民福祉プラザ

主 催 鹿児島市 地域振興課

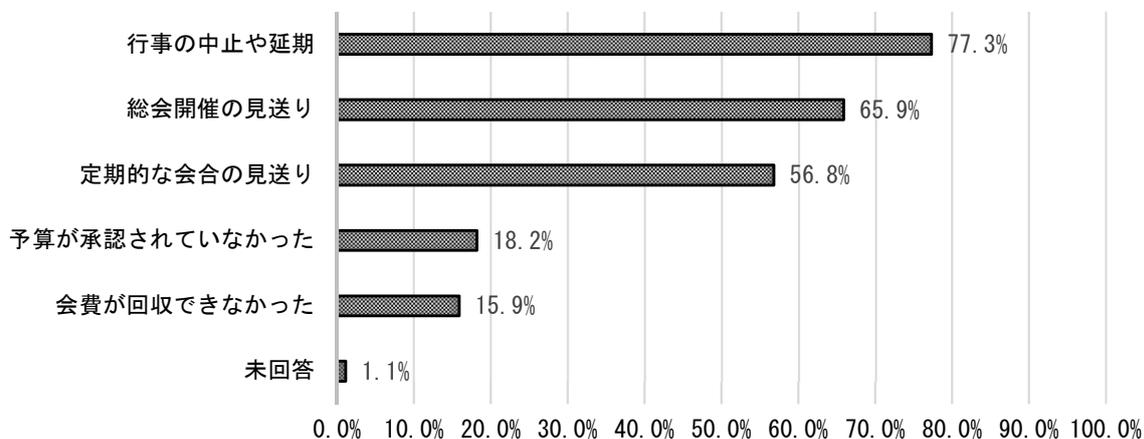
目 次

1. コロナ禍における地域コミュニティ活動の現状・課題 -----	1ページ
(1) 新型コロナウイルスが与えた町内会運営への影響	
(2) 総会の開催について	
(3) コロナ禍で感じる今後の町内会の課題について	
2. 役員・班長の負担について -----	2ページ
(1) 町内会の運営上の主な課題や悩み	
(2) 町内会活動で大変だと感じた点	
3. グループ情報交換会 -----	3ページ
(1) 情報交換会の流れ	
(2) 情報交換会テーマ案	
[参考] 町内会の活動状況 -----	4ページ
メモ欄 -----	5ページ

1. コロナ禍における地域コミュニティ活動の現状・課題【自治会・町内会等を対象とした、新型コロナウイルス感染拡大への対応及び影響に関する緊急調査（京都市）】

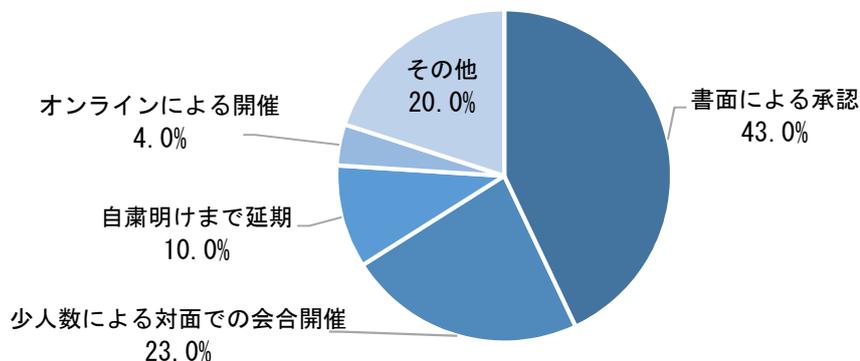
(1) 新型コロナウイルスが与えた町内会運営への影響

京都市が令和2年6月に行った調査によると、新型コロナウイルスが与えた町内会運営への影響として「行事の中止や延期」77.3%、「総会開催の見送り」65.9%、「定期的な会合の見送り」56.8%となっており、町内会運営に支障をきたしていることがわかります。



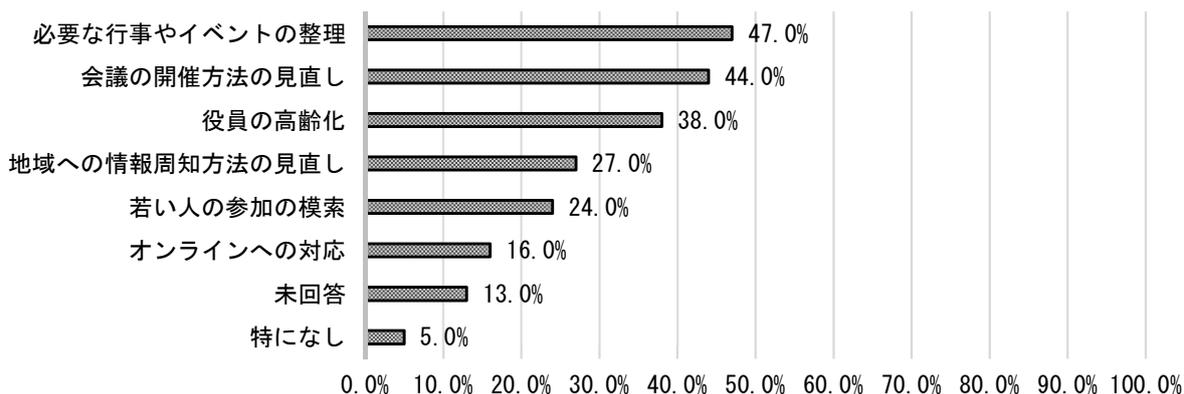
(2) 総会の開催について

新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一例として、緊急事態宣言下、総会などの会合ができない際に町内会がとった対応は、「書面による承認を行った」43.0%、「少人数による対面での会合を開催した」23.0%となっています。



(3) コロナ禍で感じる今後の町内会の課題について

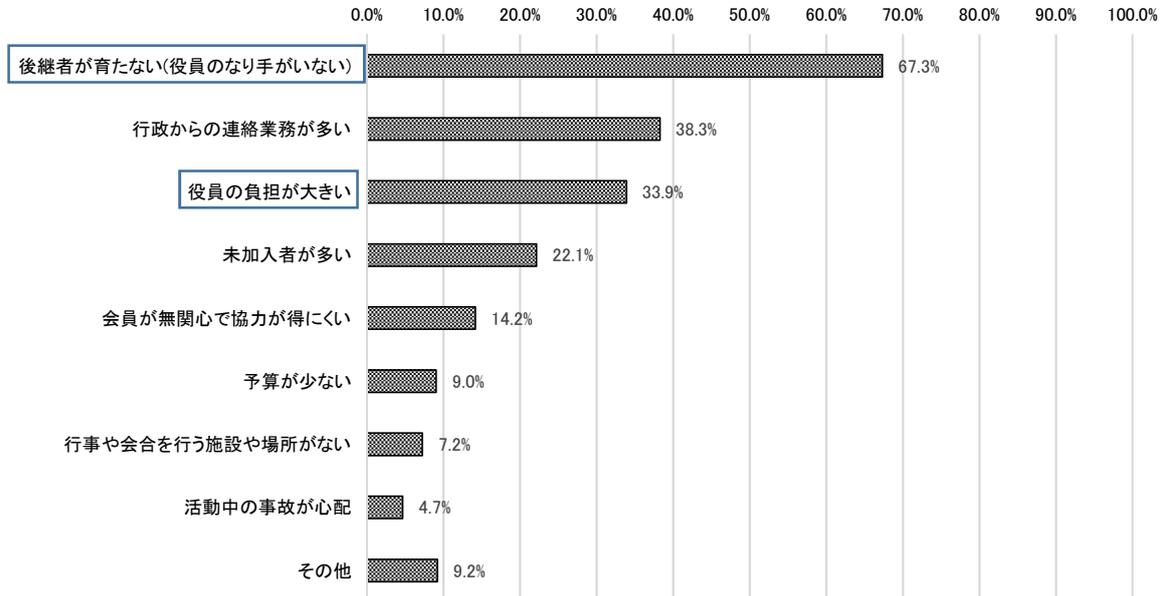
コロナ禍において、町内会が以前よりも課題と感じたこととして「必要な行事やイベントの整理」47.0%、「会議の開催方法の見直し」44.0%があげられています。



2. 役員・班長の負担について

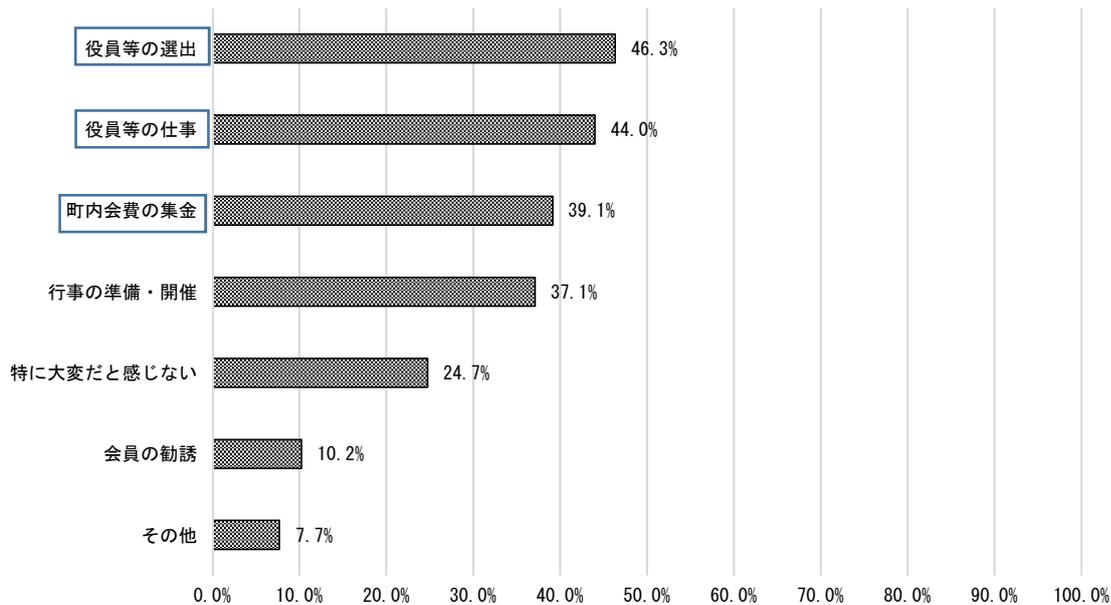
(1) 町内会の運営上の主な課題や悩み 【平成29年度町内会実態調査から】

町内会は、「後継者が育たない(役員のみ手が足りない)」67.3%や、「役員への負担が大きい」33.9%など、役員に関する運営上の課題や悩みを抱えています。



(2) 町内会活動で大変だと感じた点 【平成29年度市民意識調査から】

市民が町内会活動で大変だと感じている点は、「役員等の選出」46.3%が最も多く、次に「役員等の仕事」44.0%、「町内会費の集金」39.1%と続いています。



3. グループでの情報交換

(1) 情報交換会の流れ

- ① はじめに、自己紹介をお願いいたします。
(分かる範囲で構いませんので、町内会の加入状況や人口減少・高齢化の状況、居住環境(戸建・マンション・アパートの割合)などに触れてください。)
- ② グループ内で「進行役」「発表役」を決めてください。
- ③ 「進行役」がグループの中心となって、テーマの決定や情報交換、意見等の集約などを行ってください。
- ④ テーマ案を参考に、各町内会での取組事例や課題解決の工夫等について情報交換を行っていただき、11時15分頃を目安に、事例等をグループ内でまとめてください。
- ⑤ 「発表役」の方は、11時25分からの事例発表の際に、5分以内で発表をお願いします。

(2) 情報交換会テーマ

今回、皆さんに情報交換いただきたくテーマは以下の2つといたします。

① コロナ禍における地域コミュニティ活動の現状・課題・対応策

[課題]

- ・コロナ禍における町内会の運営について
- ・コロナ禍における交流・親睦活動の実施について

[取組事例・課題解決の工夫等]

- ・総会・役員会の開催について
(例：開催の頻度・場所の見直し、オンライン会議の導入、会議時間短縮の工夫、書面表決の活用、感染対策グッズの活用)
- ・情報共有手段の見直しについて
(例：回覧板を減らす取組み、LINE やメールの活用)
- ・イベントの実施について
(例：感染防止対策、行事の見直し、運動を伴う活動、食事の提供、来年度実施方針)
- ・活動自粛が与えた町内会への影響

② 役員・班長の負担軽減策

[課題]

- ・役員や班長のなり手がいない。
- ・役員が高齢化し、若者は町内会運営に関心がない。
- ・会長に負担が集中している。
- ・従来からの町内会行事や運営に固執し、スリム化できない。

[取組事例・課題解決の工夫等]

- ・担い手育成の方法
- ・役員候補者の情報収集方法
- ・効率的な役員改選方法
- ・回覧板の廃止(掲示板やHP、LINE、メールの活用)による負担軽減
- ・行事等の統廃合に伴う運営のスリム化
- ・その他の会長、役員、班長の負担軽減策

[参考] 町内会の活動状況 【平成29年度町内会実態調査から】

町内会の活動は、多岐にわたっており、いずれも地域に密着しています。

平成29年9月から10月にかけて、市内の全町内会（781団体）を対象に実施した町内会実態調査によると、防犯灯の維持管理やごみステーションの維持管理、町内清掃といった生活環境に関するものや、敬老会や運動会、十五夜など住民同士の親睦交流に関するものが多く行われていました。また「住民からの苦情・要望の調整」や「高齢者慰問・声かけ」などはここ数年で目立って増加しており、町内会がより難しい地域課題への対応を迫られている傾向にあることがわかります。

